



宗像市の農業、漁業 を活用した活性化案 へのコメント

東京農業大学 堀田和彦 2021.7.1

宗像市は宗像大社をはじめとする世界遺産、豊富な漁業資源、農業資源、美しい海岸、道の駅むなかたをはじめとする飲食店も多い。宗像市より提案された活性化案を踏まえ、

- ①観光
- ②農水産業を活用した観光との連携
- ③観光農園＋半農半Xの支援

についてコメントさせていただきます。

観光

- 宗像といえば、福岡、北九州からの典型的な日帰りスポット、でも、宗像大社、
- 道の駅むなかた・・・その次は？

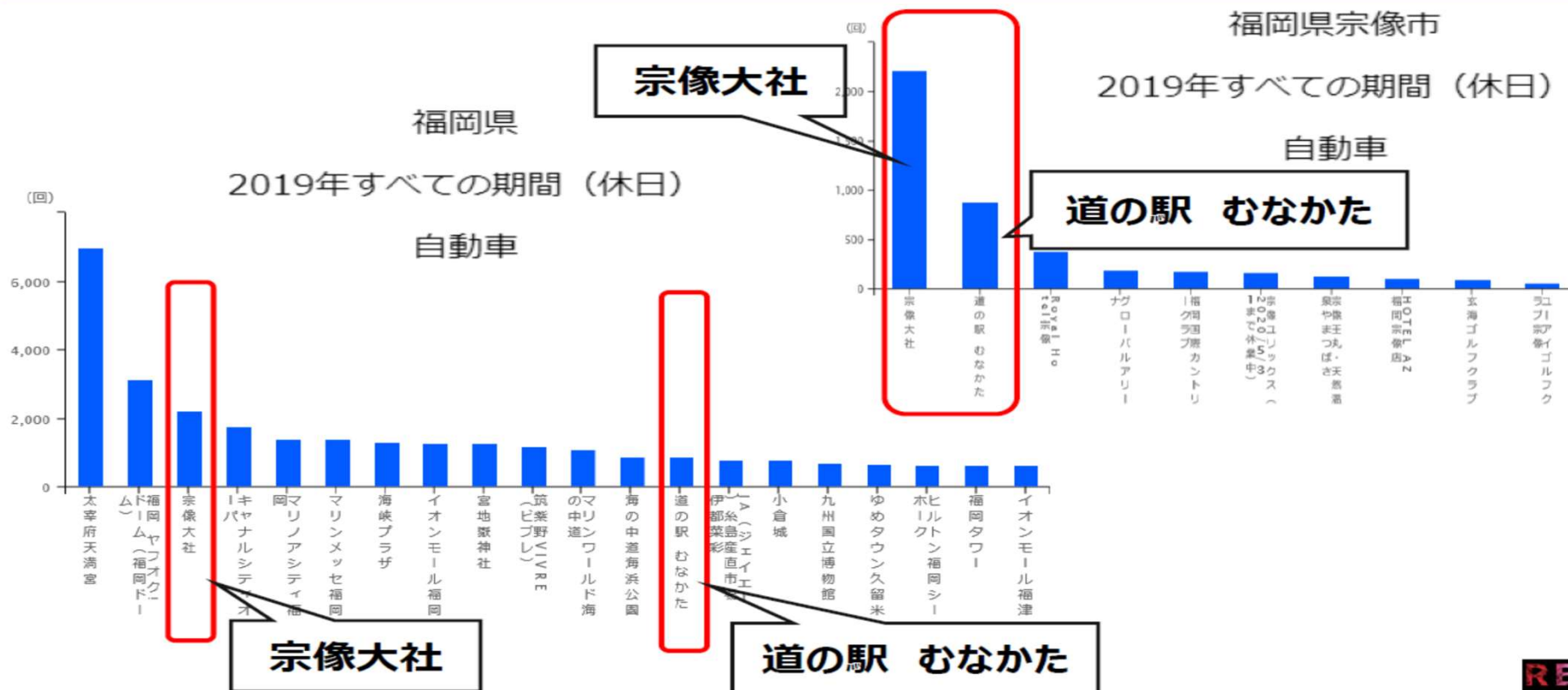
宗像市の目的地検索ランキング

域外からの消費流入は少ない、つまり観光客からの所得は少ない。しかし宗像市観光入込客数はH30年度約500万人、道の駅むなかた利用者数は令和元年度約160万人であり、決して少なくない。

(宗像市統計より)

宗像市の目的地検索をみると、「宗像大社」が最も多く、次いで「道の駅むなかた」が多い。

福岡県内での比較においても、「宗像大社」は3番目、「道の駅むなかた」は13番目に多い。



回遊コースの増加をどうはかるか

- 宗像大社の文化的歴史的価値は伊勢神宮に匹敵するもの、しかしあまりその事は広く認識されていない、大変残念
- 宗像といえば宗像大社と道の駅ムナカタ以外あまり思いつかない人が多いのでは、非常に残念 . . .
- 海岸線も非常に美しく、恵まれた自然資源は豊富
- 現代の若者は何を見るか？ インスタや九州ウォーカーに宗像がどのように紹介されているか？
- 現代の人はインスタ映えする景観があればどこにでも行く、恵まれた文化遺産、自然景観をより一層見てもらうために、 . . .

映え景観の発見・開発をしては

- 映え景観、映え飯しコンテスト等の実施（地元の宗像高校や福教大等の活用？）で宗像の再発見をしてみても（低予算で可能？）
- 映え景観を作る、例：佐賀、環境芸術の森、鹿児島県錦江町（きんこうちょう）海岸に見えてくる影絵アート
- 映え景観を作る発想も大事では



この鏡、ただのテーブルにガラスがおいてあるだけ

佐賀唐津：環境芸術の森



錦江町 影絵アート、
海岸線に様々な黒塗り板での影絵アートが置いてある
このように、映え景観の再発見、映え景観を作り、
回遊コースを増やせば少しずつ町にお金が落ちる条件整うでは

農業、水産業を活用した観光との連携

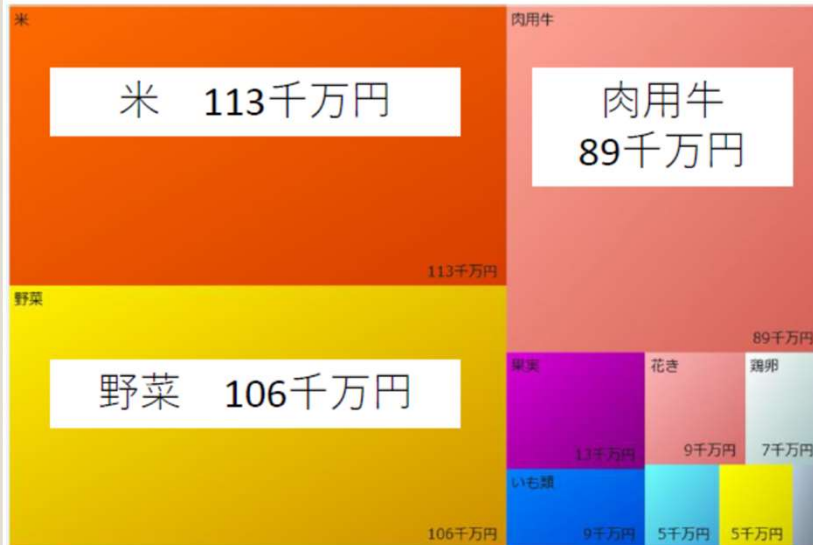
- 宗像の農業生産、特筆すべきは肉牛生産額の多さ、
- おそらく薄牧場さんの貢献が大きいのは
- 薄牧場は未利用資源（焼酎粕？）、飼料米を餌にして低コストで良質のF1牛肉を生産し、農場のHACCPを導入するなど安全安心にも細心の注意を払っており、我々の業界では非常に有名な農場

宗像市の農業

品目別 農業産出額については米の割合が高く、米・野菜・肉用牛で全体の約8割を占めていることがわかる。
 一方、福岡県をみると野菜、米、果実、花きで全体の約8割を占める。

品目別 農業産出額

宗像市



都道府県別農業産出額及び生産農業所得: 426億円

福岡県



都道府県別農業産出額及び生産農業所得: 2,124億円

2021/6/28

むなかた牛ご利用実績・お問い合わせ | 株式会社 すすき牧場 | 福岡県宗像市



製品のお求め、
ご用命は…



[ホーム](#) [リンクス](#) [個人情報保護方針](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [ENGLISH](#)

[ホーム](#) [むなかた牛](#) [むなかた牛ご利用実績・お問い合わせ](#)



ご利用実績・お問い合わせ

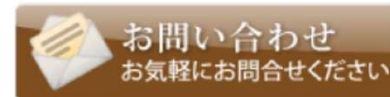
TV生中継もされた「喰らわんね-むなかた牛祭-」で、
子ども達から大人まで数千人を笑顔に変えた「むなかた牛」！



「正助ふるさと村」にて開催いたしました「喰らわんね-むなかた牛祭-」では、
お子様から年輩の方まで数千人のお客様が訪れるほどの賑わ



一般のお客様へ



農業、水産業を活用した観光との連携

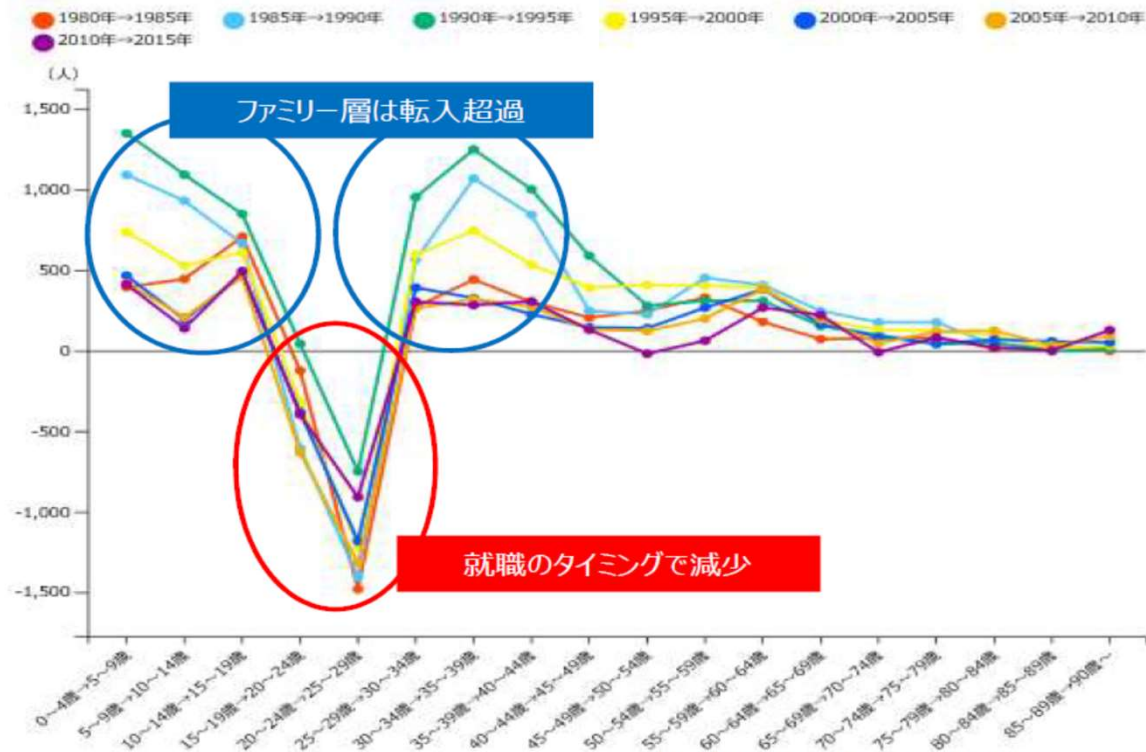
- たとえば肉牛と魚（アナゴ：漁獲量福岡一位）活用できないか
- 新たな**宗像名物の開発**、糸島には大きな直売所あるが食べられるところ以外に少ない
- 薄木牧場のお肉（F1牛生産農家、比較的低価格、高品質、安全安心にも気を配る優秀な農家さん）活用できないだろうか？
- アナゴを食べられる店舗、安くて美味しいステーキ、アナゴ丼、開発できないか？牛肉、大盛アナゴ丼を併設した道の駅できないか
- 産地直送牛肉レストラン、泰元（福岡）や堀ちゃん牧場、参考になるのでは、
- アナゴ料理に関しては広島を参考にしては

観光農園＋半農半Xの支援

- 宗像は家族層の流入多く、住みやすい街のイメージ高い

年齢階級別純移動数の時系列分析

本市は2つの大学が立地していることから就職のタイミングで減少している。
しかしファミリー層については順調に転入している状況である。



【出典】RESAS(総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成)

観光農園＋半農半Xの支援

- 体験農園、ふれあい農園、家族層の潜在ニーズかなりあるはず、いちごや果樹の観光農園の利用者かなりいるはず
- ＋アルファで半農半Xを推奨する仕組み作りできないか
- 耕作放棄地等を活用し、積極的に半農半Xを支援する町をアピールしては（全国的にも注目されるはず）
- 農業を学べる場の提供（体験農園の整備）
- 次に生産できる耕作放棄地を利用した農地の提供
- 福岡等近隣からの流入だけでなく、関東、関西からの子供連れ家族の定住促進にもつながるのでは

ご近所で野菜作りを楽しめる
畑をお貸ししています！



シェア畑を始める**9割の方が初心者**です。
畑には**経験豊富なアドバイザー**がいて、
週1回程度の農作業で、無農薬野菜を楽しんで

シェア畑のHPより